



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



2020年9月15日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

8月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！ サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

上本 崇司
(広島東洋カープ)
初受賞

上本選手は、8月28日(金)マツダスタジアムで行われた対阪神タイガース12回戦、同点で迎えた9回裏1死1、2塁の場面でセンター越えのサヨナラタイムリーを放ち、チームを劇的な勝利へ導いた。

広島・森下投手、阪神・西勇輝投手が先発したこの試合は8回が終わり3対2と広島がリード。何とか逃げ切りたい広島は守護神フランスア投手に9回を託した。しかし、連続安打を浴びて1死1、3塁のピンチを招くと、阪神・梅野選手のセカンドゴロの間に同点に追いつかれる。続く9回裏、阪神は勝ちパターンを担う岩崎投手をマウンドに送り延長戦突入を図るが、広島は松山選手、坂倉選手の安打により1死1、2塁のチャンスを作る。打席は今季7度目のスタメンとなる上本選手。勢いそのままに3球目のチェンジアップを振り抜くと打球はセンターを越え、新人時代の2013年以来7年ぶりとなるタイムリーで試合を決めた。

サヨナラ打はプロ初。チームにおける同賞受賞は、2018年8月度の鈴木誠也選手以来。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

山川 穂高
(埼玉西武ライオンズ)
初受賞

8月27日(木)メットライフドームで行われた対北海道日本ハムファイターズ12回戦、8回に逆転を許し、6対7と1点ビハインドで迎えた9回裏1死満塁の場面で山川選手が左翼線へ逆転サヨナラ2点タイムリーを放ち、8対7のルーズベルトゲームを制した。

埼玉西武は序盤に4点を先行されるなど苦しい試合展開であったが、4回に山川選手の2点本塁打で反攻の口火を切ると、5回には栗山選手のタイムリーで逆転。しかし、リードして迎えた8回にリリーフ、ギャレット投手が3点を奪われ逆転を許す苦しい展開となった。

1点差の6対7で迎えた9回裏、1死2塁から連続四球で満塁とすると、この試合4回に2点本塁打を放っている4番山川選手が打席に入る。カウント2-2からの5球目を振りぬくと、打球は前進守備をしていた左翼手の横を抜ける逆転2点サヨナラタイムリーとなった。終わってみれば両軍合わせて23安打の乱打戦、頼れる4番の一振りはチームを救う大きな一打となった。スカパー！ サヨナラ賞は初受賞となる。



月間「スカパー！ サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！ は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！ サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	栢田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島)	A.デスパイネ (ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization
Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！ サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
5月度	山下 幸輝 (DeNA)	清田 育宏 (ロッテ)
6月度	山田 哲人 (ヤクルト)	上林 誠知 (ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島)	山下 斐紹 (楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島)	Y.グラシアル (ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (ヤクルト)	中田 翔 (日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (ロッテ)
9、10月度	N. ソト (DeNA)	E. メヒア (西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島)	山川 穂高 (西武)
9月度		
10、11月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
2018年度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)

